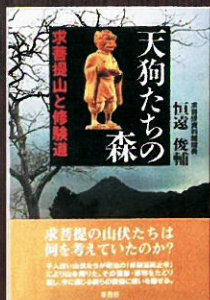
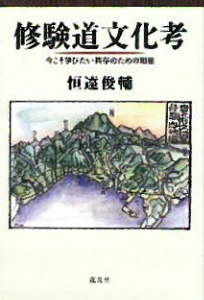


書籍の紹介



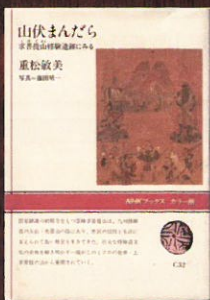
『天狗たちの森—求菩提山と修験道—』

恒遠 俊輔 (著) 葦書房



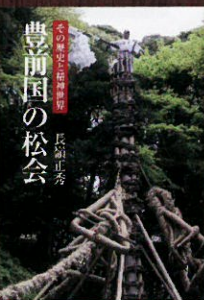
『修験道文化考—今こそ学びたい共存のための知恵—』

恒遠 俊輔 (著) 花乱社



『山伏まんだら—求菩提山(くほときさん)修験遺跡にみる—』

重松 敏美 (著) NHKブックス



『豊前国の松会—その歴史と精神世界—』

長嶺 正秀 (著) 海鳥社

山伏について

～かつて身近にいたセラピストたち～

みなさんは「山伏」をご存知ですか?今日、その存在を知る人は稀なうえ、この京築でその存在がありふれたものだったことを知る人に至っては絶滅危惧種並?ともいえますが、その「山伏」とは一体何者なのか、そして彼らが京築では一体どういう存在だったのかを以下に簡単にご紹介しましょう。

山伏は別名を修験者・山臥ともいい「修行得験」＝「山野に起き臥す」厳しい修行によって験力(＝神通力)を獲得し、それを以て人々を救う行者を指します。英彦山を筆頭に豊前六峰と呼ばれる郡単位の霊山群がある京築では、平安期以降多くの山伏が活動し、江戸時代になるとその活動は一層顕著なものとなりました。彼らは里の農民たちを檀那(スポンサー)と仰ぎ、彼らのニーズに応じた活動を積極的に展開しましたが、その活動は「松会」と呼ばれる松柱を核とする修験式まつりの振興、「麦・米祈禱」と呼ばれる春秋の檀家回り、加持祈禱と呼ばれる生薬や心理療法を用いた医療やカウンセリングなど多彩でした。近代医療やネットがない時代の彼らは、気軽なよろず相談員・かかりつけ医として「やんぶしさん」「法印さん」の名で親しまれ、地域に溶け込んだ存在でした。

明治維新後の修験道禁止令によってその存在は非科学的・非合法として遠ざけられ、人々の記憶から追いやられてしまいましたが、自然を尊び、自然に学ぶその姿勢は、山伏不在となった今日でも今なおさまざまな形で京築の人々に引き継がれているように思えます。



蔵持山山伏発行のお札



山伏が拝む本尊の掛仏

みやこ町歴史民俗博物館 木村達美

編集後記

レポーター/デンネン

京築にくらした人々が先祖から脈々と受け継いでこられたであろう修験道の「松会」を紹介しました。この紙面だけで全部理解してもらえないかも知。ご案内の書籍で、より知っていただければ幸いです。会報誌は来年度も続いていきますが、不肖、デンネンはちょっとひと休みさせていただきます。3年の永きに亘ってお付き合いいただき、ほんとうにありがとうございました。オオキニ!!



自家焙煎

Café Kissako (キッサコ)

行橋市高瀬302
TEL 0930-37-2547
営業 9:00~19:00 (ランチ11:30~14:30)
定休日 毎週水曜日
駐車場 有り(10台程度)

some good points of this place

2013年開店。自家焙煎のコーヒー、手作りパン、ランチ&軽食(サンドイッチ、グラタン、ケーキ、パスタ他)、料理はオリジナルにこだわっています。ランチ(税込1,200円)は1種類のみで、パンかごはんを選べます。メニューは2週間ごとに変わります。自家焙煎のコーヒーも小売しています。

薪ストーブのやさしい炎で居心地の良い空間に心を癒され長居したくなります。

レポーター/チェリー

話題の食おみせ 紹介

A popular food & store in Keichiku

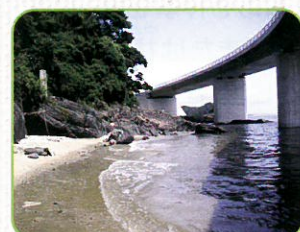


人気の限定ランチ



焙煎機とコーヒー(左側)

発行：京築連帯アムニティ都市圏推進会議 事務局(福岡県広域地域振興課内)
企画編集：京築応援団会報編集委員会、豊の国海幸山幸ネット
問い合わせ：福岡県広域地域振興課 TEL 812-8577 福岡市博多区東公園7番7号
TEL 092-643-3178 / FAX 092-643-3164 / E-mail: keichiku@pref.fukuoka.lg.jp



行橋市 英彦山お潮井採り視場



上毛町 松尾山お田植祭



苅田町 等覚寺松会



豊前市 求菩提山お田植祭

©IZUMI HARAGA



春

Vol.022
発行 2016/3/1

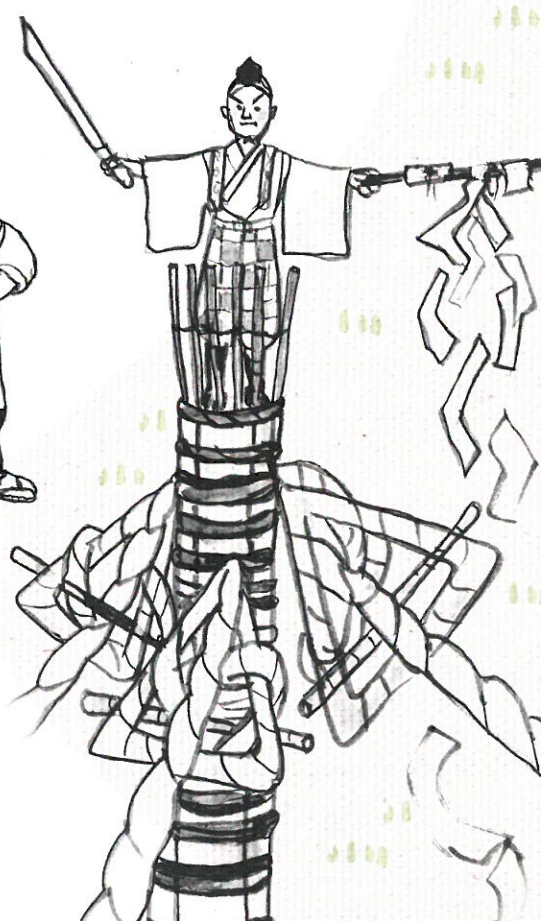
京築応援団便り

豊のくに けいちく

2016 Spring Toyonokuni Keichiku

京築まるごとナビ <http://www.keichiku.info/>

きてみちよくれ
春のけいちく
未来へつむぐ修験の祭り



修験道の祭り、松会を支えるキッズパワー

苅田町立白川小学校3・4年生

苅田町等覚寺に残る松会行事(「国重要無形民俗文化財」)に欠かせない「田打ち」や「楽打ち」。

等覚寺地区の子どもたちが少なくなって継承が困難となったため、10年程前から白川小学校の3・4年生が大役を担うことになりました。

春休みから松会当日までの練習は真剣そのもの。厳しい自然に打ち勝ち良いお米が穫れるようにと祈る祭を受け継ぎつつ、子どもたちも自然と向き合い地域の中でたくましく成長しています。

●連絡先 / 苅田町立白川小学校 ☎0930-22-1071

レポーター/ノウサギ



けいちくグループ紹介



福岡県・京築地域
行橋市・豊前市・苅田町・みやこ町
吉富町・上毛町・築上町



『京築応援団』 団員募集中!!

京築を応援するファンクラブに
入りませんか?

お申し込みは京築地域情報発信サイト

「京築まるごとナビ」から

<http://www.keichiku.info/>



知っちゃう?京築

「これを読めば、松会・お田植祭がわかる」

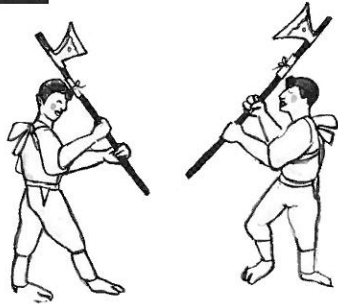


「松会」「お田植祭」は山の神に五穀豊穡を予め祈る修験道最大の祭りです。米作りの農耕儀礼や所作で構成され、京築にある修験の里で行われています。なかでも苅田町等覚寺地区では、日本でここだけしか残っていない「幣切り」を含む「等覚寺の松会」が千年に渡り継承されています。

レポート/トヨヒメ

鉞舞

刀衆による獅子舞や勇
壮な長刀・鉞舞



楽打ち

色衆による楽打ち



スタート

祭りの前段では、潮を汲み山を清める神事を行い、次に松柱(または柱松)を建てる「柱起し」や藁でつくった竜神の注連縄をさげる「注連縄おろし」が行われます。祭りの主役「盛一臈」は精進潔斎し祭りに臨みます。

はらみ女

女装した「はらみ女」や「うない(初花乙女)」、「おとんぼし(かかし)」は、笑いを誘うキャラクター!



幣切り

祭りのクライマックス! 盛一臈が松柱に登り、五穀豊穡と天下泰平を祈って幣を切ります。



ゴール

早乙女

稲を植えるのは、どの山でも可愛い「早乙女」たち。山によって所作や衣装は違います!



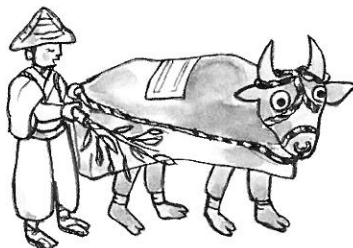
種時

盛一臈は松庭に種籾をまきます。



田行事

色衆による田行事で、米づくりの所作が続きます! 田鋤きの牛が怠けて困らせる姿に注目!



「豊かさの源!ひと!」シリーズ

まつのおさん
松尾山お田植祭保存会
会長

22人目

ふくもと としみ
福本 利三さん



民俗、郷土芸能での後継者育成は、過疎化によりどの団体も高齢化に苦慮しているのが現状です。70歳代が主役の団体もあるなかで、歴史をつなぐ重みとおもしろさを理解しながら後継者育成に取り組んでいるのが福本利三さんです。

福本さんは、平成19年に「西友枝松尾山お田植祭保存会」会長に就任。就任後は、指導力と実行力を発揮して英彦山神宮との交流をはかり、平成20年に刀行事(長刀の舞、鉞の舞)を復活。さらに平成23年に獅子舞を復活し、平成24年には、「御旅所」が下宮跡に復元され、毎年4月19日に近い日曜日にお田植祭が開催されています。

松尾山のお田植祭は昭和46年福岡県青年大会「郷土芸能の部」で最優秀賞を受賞し、全国青年大会に参加、優秀賞を受賞。その年、福岡県指定無形民俗文化財の指定を受けました。

その後、昭和56年九州地区民俗芸能大会(鹿児島)に出場。平成16年国民文化祭「ふくおか2004」とびうめ国民文化祭に出演。翌年、日本国際博覧会(夢・地球博)政府出展事業芸能十八撰に選定されました。

現在、春・秋の峰入り行事を取り入れた「松尾山回峰行」の再現に取り組んでおり、第一回は松尾山より英彦山へ、第二回は英彦山より松尾山への回峰行を実行。以来、行程は松尾山を中心に、上毛町、豊前市、耶馬溪松原山を回り、再び英彦山へと戻り、英彦山神宮新嘗祭にてお田植行事を奉納するなど、今年で8回目を数え、延べ参加人数は400人を超えています。

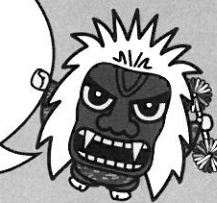
今後は数年のうちに会員の平均年齢が40歳以下になるよう、会員の補強に努め、次世代へバトンタッチをしていく予定ですが、基本をゆがめることなく忠実に松尾山の伝統をつなげたいと想いはふくらみます。

レポート/カジカガエル



松尾山回峰行の様子

京築地域で
受け継がれている
貴重な修験道の祭りに
ぜひお越しください!!



苅田町

国重要無形民俗文化財
等覚寺の松会

■日程:4月17日(日)13:00~
■場所:白山多賀神社
等覚寺白山多賀神社で行われる千年続く祭礼です。行事前には山伏古道を歩いて参拝する「松会ウォーク」(9:50~13:00、集合場所:白川小学校)も実施します。参加費1000円(山伏流そば・保険料)。

◎苅田町観光協会 TEL.093-434-5560(9:00~17:00 休:土・日・祝日)

豊前市

求菩提山のお田植祭

■日程:3月27日(日)
10:00~ 神楽
13:00~ 祭典・お田植祭
■場所:求菩提山 国玉神社中宮
国玉神社中宮の広場で、春の種まきから秋の採り入れまでの農作業を真似ての所作が神歌にあわせてユーモラスに繰り広げられます。

◎求菩提山お田植祭保存会事務局 TEL.0979-82-1111(内線1224)

上毛町

松尾山のお田植祭

■日程:4月17日(日)12:00~
■場所:上毛町西友枝松尾山三社神社下宮広場
子どもの色衆の踊りや刀衆の踊り獅子舞も観られ五穀豊穡と天下泰平を祈願します。「ゆいきらら」からシャトルバスを運行します。

◎上毛町大平支所総合窓口 TEL.0979-72-2111

行橋市

下検地祭

■日程:5月3日(火)~4日(水)
■場所:行橋市下検地361-1
(王野神社周辺)

数百年前から伝わる春祭り「下検地」が奉納されます。頭に鶏の羽を飾るので、「ニワトリ祭」とも言われて、祭打ちは子どもが中心となり、太鼓や鉦を響かせながら舞い踊ります。

◎行橋市教育委員会 文化課 TEL.0930-25-1111(内線1167)

みやこ町

ジビエSAI music street2016

■日程:3月20日(日)
■場所:みやこ町犀川体育館及び体育館前
地元で獲れた肉を使ったジビエ料理を味わって頂く「大人のジビエ」を開店。おなじみのミュージックストリートを下津幡、大橋純子を迎え開催。豪華なコラボを是非お楽しみください。

◎みやこ観光まちづくり協会 TEL.0930-33-5771

築上町

龍城院柴燈護摩大祭

■日程:4月17日(日)
8:00~ 護摩焚きは12:30以降
■場所:築上町真如寺・龍城院特設会場
行者と有志が求菩提に参拝して龍城院に戻り、先住先亡尊霊法要、諸神祈禱後、特設会場に移動し、柴燈護摩を始めます。添え護摩に祈願を託し、火渡りで無病息災祈願をしてみませんか。昼食、特産品等の販売もあります。

◎龍城院柴燈護摩大祭実行委員会 TEL.0930-56-3861

吉富町

よしみ70kmウォーク第5回記念大会

■日程:5月28日(土)~29日(日)
■場所:吉富フォーユー会館
従来の「70kmウォーク」に加え、「チャレンジジップコース(30.3km)」と70kmウォークと同じコースを4つの区間に分けてタスキを繋ぐ「駅伝コース」の計3コースで開催します。

◎吉富町体育協会事務局 TEL.0979-22-1978(大会専用電話 5月31日まで開設)

けいちく春みつけ

2016年・春